

広報

のあさひ

No. 375

'88

2/15



最上川に楽しさがまた1つ

湖面に姿を映す、上郷ダムの白鳥たち

(1月21日 本町の長岡義夫さん撮影)

忘れずに、確定申告は3月15日まで



今日はおかあさんといっしょに、しんこくそうだん（太郎公民館）

暮らしに生かされていますか あなたの税金 ● 汗と願いの結晶

いま町内では、役場税務課の職員が各自治公民館をまわつて、税の「申告相談」の真つ最中。これと同じくして、今国会でも国の昭和63年度予算案をめぐり、新型間接税の導入問題を焦点とした与党と野党の税制度の見直し論議が盛んに行われています。

税金が「高い」「低い」あるいは「不公平」との声が聞かれる陰には、税制度の複雑で分かりにくさが大きな要因でもあります。今月は税金のイロハから話を進め、私たちの日々の暮らしを、みんなでささえ合うために設けられた税金のしくみ、この時期にもう一度みつめてみましょう。

●「会費」と税金は親せき？

なぜ税金が必要なのでしょう

私たちはよく、グループやサークル、婦人やPTAなどの団体の会員という個人的な活動の中で、その会（組織）を維持し、会の目

的達成のための活動に必要な資金を、ときには会員同士の結束を深めるために、「会費」を負担することが多くあります。

これは、ある目的で集まった集合体にみられる個人の金銭的な負担です。これが共同社会の小さな単位である集葉の「区」になると、そこに住む区民だけが共同で利用する公民館などの施設建設や、消防団員の活動費などに充てるための

税金の種類【表1】

国 税

国 税		間 接 税	
所得税	直接税	石油ガス税	登録免許税
法人税	税	石油税	印紙税
相続税	税	航空機燃料税	自動車重量税
贈与税	税	物品税	関税
		トランプ類税	とん税
酒税	税	取引所税	日本銀行発行税
たばこ消費税	税	有価証券取引税	地方道路税
砂糖消費税	税	通入場税	特別とん税
揮発油税	税		電源開発促進税

地方税

地方税		都 道 府 県 税		市 町 村 税	
普 通 税	道府県民税	市(区)町村民税			
	事業税	固定資産税			
	不動産取得税	軽自動車税			
	道府県たばこ消費税	市(区)町村たばこ消費税			
	娯楽施設利用税	電気税			
	料理飲食等消費税	ガソリン税			
	自動車税	鉱産税			
	鉱区税	木材引取税			
狩猟者登録税	特別土地保有税				
固定資産税(特例)	市町村法定外普通税				
道府県法定外普通税					
目 的 税	自動車取得税	入湯税			
	軽油引取税	事業所税			
	入猟税	都市計画税			
	水利地益税	水利地益税			
		共同施設税			
	宅地開発税				
	国民健康保険税				

では、町や県、それ以上に大きな共同社会である国の中ではどうでしょう。今日、私たちの生活は、住んでいる町はもちろん、国や県などの行政活動と深く結びついており、この活動にもとづくいろいろな公共サービスを受けながら毎日を送っています。

身近な例をみても、道路、

これら行政活動に必要な経費を『租税』といい、私たちは『税金』という形で

負担しています。ですから税金は私たちの地域的な共同社会、あるいは昨今の国際化社会の中では、地球的

●いへいおさめ

税金に

サークルなどの「会費」は、活動に最低必要とする資金を、会員の人数で単純に割り算して決めるのがふつうです。

しかし、国や町などの共同社会の中にあつての「会

税金には種類がいっぱい

いますか？
種類がいっぱい

税などのように、税金を納めなければならぬ人と、その税金を実際に負担する人が同じ人である場合の税金をいいます。

いまだか？

種類がいっぱい

「費」は、そう単純にはいきません。いろんな地域に、いろんな人が、いろんな生活を営んでおり、千差万別。サークルの場合とは逆に、むしろ個人の生活に着目した「会費」を負担し合うことが求められ、いわゆる「分かりにくい税制」と多種多様の税金が決められることになります。

これに対して間接税は、酒税やたばこ消費税のように、税金を納めなければならない人と、その税金を実際に負担する人と同じ人でない税金をいいます。つまり間接税は、酒造会社やたばこ製造会社が一時納めた税金を、清酒やたばこの価格に上乗せして店で売りそれを買い求めることによって消費者（国民）が負担するしくみの税金です。

税金に占める直接税と間

そこで、これらの税金を次のような区分で整理したのが表1です。簡単に説明することにしてましょう。

＊国税と地方税

国税は、国に納める税金をいい、地方税は、県や町などに納める税金をいいます。そのうち県に納めるものを「県税」、町へ場合は「町税」と呼んでいます。

*直接税と間接税

直接税は、所後税や法人

* 普通税と目的税

普通税と目的税は、行政活動での税金の使いみちによって分けた呼び方です。

普通税は、一般的な行政活動の財源に充てられてい

税の所得区分による課税状況調【表3】

課税額	比率(%)	大江町	西川町
118,441千円 (39,960円)	77.6	82.9	87.8
8,350千円 (13,870円)	5.4	0.8	0.7
12,183千円 (39,555円)	8.0	5.5	5.6
12,605千円 (286,477円)	8.3	8.9	3.2
1,075千円 (32,576円)	0.7	1.9	2.6
152,654千円	100.0	100.0	100.0
38,637円		54,638円	48,658円
		39.9	42.3

その所得額の多い方に包括して区分したものです。(昭和62年3月調査)

るもので、ほとんどの税金がこれに当たります。
これに対し、国民健康保険税(保険料ともいわれます)のように、国民健康保

険に加入している人の医療費など、特定の人やサービスに使われる税金を目的税と呼んでいます。

●自分で計算してみてもいい?

申告が基本、納税のしくみ

税金を納める方法、あるいは税額をだれが計算するのかなどによって、税金への考え方もちがってきます。まず、申告納税制度と賦課課税制度という二つのしくみをご紹介します。

申告納税制度は、納税者が自ら所得金額や税額を計算し、それにもとづいて申告し納税するという制度です。したがって、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら知って

いることを、自ら進んで、自らの責任において申告する、最も民主的な納税のしくみといえます。所得税や法人税、相続税などのように、主な国税のほとんどについてはこの制度です。

これに対し、町民税や固定資産税、自動車税など自主申告を基本としながらも行政側が調査をもとに一定の基準にしたがって税額を計算し、納税者に税金の支払いを求めるしくみを賦課課税制度と呼び、地方税の多くに採用されています。

これらの納税のしくみから、申告納税制度による税金は、納税者の自主、自覚を尊重する一方で、納税すべき人や所得などの状況を

●「朝日家」では共稼ぎ?

町の「家計」をそのついでに

それでは、地方税を基本とする朝日町の今年度の一般会計予算、「朝日さんちの家計」(表2)をのぞいてみましょう。

「朝日家」に入ってくる収入で一番多いのが地方交

把握することが容易でないという性格をもっているといえます。逆に賦課課税制度によって納める税金は、税金の基礎となる数値を行政側が身近に把握できることから、税額を計算する上で納税者の手間が省け合理的な一方、納税の自主性が薄れるという性格をもっているといえます。

また特に、サラリーマンなどの給与所得者においては、給与を支払う側の把握も容易なことから、納税者が自分で申告し納税する代わりに、支払者があらかじめ一定の税額を給与支払いの際に天引きして納税する方法もあります。これを源泉徴収制度と呼んでいます。

付税で、次に地方税としての町税、県支出金、町債の順になっています。

このうち町税のほとんどは、毎月のように入ってくる「固定」収入です。特に朝日町では、町民税(県民

税も含め)、固定資産税、軽自動車税とともに、国民健康保険事業会計の目的税である国民健康保険税とを合わせた納税世帯の年間税額を十回に分け、納税者をもって組織する朝日町納税組合が、それらを毎月集めて町に納付する方法をとっています。これを「集合主税納税方式」と呼んでおり、県内では当町と米沢市が採用しています。

町税の主なもの、町民税と固定資産税です。町民税は「朝日家」の人が働くことによって得られる「労働」収入、固定資産税はいわば「家賃」のような「不労」収入とみることができ、これらから「朝日家」では、どんな仕事をしているのでしよう。町民税額からみた「仕事」の内訳が表3です。「労働」収入の多くは「給与所得者」としてのいわば「賃金」収入。そのほか「農業」などの収入も相当あります。「朝日家」には毎月、「家賃」収入とそれよりやや少ない「給料」が入ってくるのがわかります。

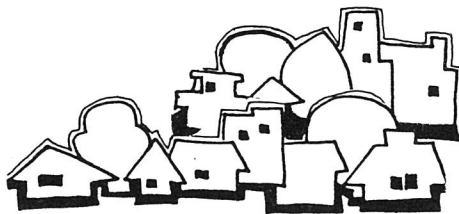
昭和62年度朝日町一般会計予算【表2】 (単位：千円)

昭和62年度 個人町民

歳入	町	税	
地方譲与税	484,684		
利子割交付金	40,010		
自動車取得税交付金	10		
地方交付税	26,000		
交通安全対策特別交付金	1,540,000		
分担金及び負担金	10		
使用料及び手数料	27,622		
国庫支出金	65,726		
県支出金	112,826		
財産収入	361,267		
寄付金	5,793		
繰入金	6,866		
繰越金	46,985		
諸収入	1		
町債	88,800		
	324,400		

内訳

町民税	170,635
個人(会社等)	150,451
法人(会社等)	20,184
固定資産税	245,578
軽自動車税	12,001
たばこ消費税	38,500
電気税	17,380
木材引取税	450
特別土地保有税	20
入湯税	120



区分	人数
給与所得者	2,964
農業所得者	602
営業所得者	308
その他の事業所得者	44
その他の所得者	33
計	3,951
納税者1人当たり	)
人口に占める納税者の割合(%)	35.8

※注：給与所得と農業所得のある場合は、

正しい納税で町づくり 汗と願いがこめられた税金

ここで、あらためて納税の基本についていいますと、共同社会の約束である法律によってのみ税金を納め、法律によらない税金は納める必要がない、という私たちの義務と権利を憲法が保障しています。

したがって、私たちはすべて、法律で定められた税額を下回って納税を済ませることができないという義務を負っていると同時に、法律で定められた税額を上回って税金をかけられないという権利を持っているといえます。

そこで、法律にもとづく方法で決められた税額を、下回ってあるいは上回って計算・納税した場合には、私たちに大きな課題を投げかけることがあります。

前者においては、特に高所得者層にみられる「脱税」「申告漏れ」という納税義務に反する行いで、新聞紙上では事件面の話題として報じられます。一方、後者においては、逆に「還付」「節税」という庶民的な生活課題として、生活面にとり上げられ、権利を守る手段として税に関する知識・学習を私たちに求められることとなります。

このように、一定の基準にしたがった正しい納税が行われない場合、行政側は常に、脱税防止などのための責任と実態調査などの負担を負い、合わせて税の申告相談や公民館事業などを通して、共同社会建設の基礎となる税について学習する機会を、積極的につくっていくことが大切になってきます。納税者である私たち自身も、その機会を利用して、ますます複雑多岐にわたる社会の変化の中で、自らの生活を持続していくための「知恵」を学んでいくことが必要な時代を迎えているといえます。

雨や雪の降る日、あるいは深夜におよぶ時間や危険な作業の中で、勤務を通して得た賃金などから納める「血税」としての税金。そのゆくえと行政活動での使いかたにも大きな関心を払い、あすのより良い社会を作っていくための意見・提言を添え、みんな「会費」を出し合うことが、今、私たちに求められているのではないのでしょうか。



●村山はつゑさん
(宇津野)

●斎藤金治郎さん
(大滝)

明治22年5月5日生れ。
一時ねたきりになったが
今では一人てトイレに。
一日3食好き嫌いなく何
でも食べ、モチが大好物。

明治22年2月2日生れ。
1日3回普通にごはんを
食べ、日や耳も現役その
もの。アメ玉が好物で
一日も欠かさないとカ。

新年を迎え、晴れて数え
百歳を迎えられた斎藤金治
郎さん(大滝)と村山はつゑ
さん(宇津野)。長寿番付で
横綱の地位を守り続けて五
年あまり。ますます元気な
お二人と今年米寿を迎えら
れた三十一人の長寿者に対
する敬老祝いが、さる一月
五日に行われました。
町内でこれまで百歳を迎

えた方は、昭和四十八年に
亡くなった鈴木いしさん
(本町)ただ一人。二人同時
に百歳誕生という初の快挙
は家族はもちろん町にとつ
ても嬉しいできごとです。
このお二人には町から十
万円の長寿年金が贈られた
ほか、米寿の方には「赤い
ちゃんちゃんこ」と賀詞を
贈り「健康に気をつけて今
後さらに長寿記録を更新し
て下さい」と激励しました。
米寿者は、次のかたがた
です。(一)内は世帯主名。

上寿・米寿(31人)の敬老訪問

大町	佐竹 直吉(一)
元町	鈴木やす(武)
小原	鈴木なる(新太郎)
沼向	菅井トクエ(功)
送橋	安藤 リワ(正夫)
下芦沢	岡崎くん(慶三郎)
松原	安藤 清助(本人)
大滝	佐藤 さく(満)
常盤	村山与惣治(なを)
〃	大井良太郎(幸一)
〃	斎藤 莊壽(仁)
長沼	阿部栄太郎(本人)
西船渡	小関 長蔵(長壽)
太郎一	阿部 キン(敏秋)
太郎三	長岡 正喜(俊晴)
白倉	阿部重太郎(英)
松程	鈴木 勇吉(勇一)
〃	鈴木とり(勇)
大舟木	鈴木久傳(昭太郎)
〃	佐藤ヨシエ(昭三)
大谷二	川村新三郎(新一)
〃	佐々木周五郎(欽三)
明鏡荘	阿部よし(本人)
〃	岸 春野(〃)
大谷六	川村 とゑ(ナツ)
〃	白田 とく(太郎)
大谷七	村山仙之助(栄)
舟渡	五十嵐モエ(義一)
〃	五十嵐ふと(之雄)
栗木沢	遠藤 よし(正美)
大暮山	阿部 貞蔵(芳雄)

東京大学の学生にさまざま
な質問をしたデータの中
に、「あなたの将来で自信が
もてないものは？」との問
いに「体力」と答えた人が
最も多いとある。人間が生
きていく上で最も大切な
のは、健康で長生きだと言
う概念をもつてすれば、有
名高校をめざすのみが良し
とするのも問題があろう。
しかし、依然として「良い
学校に入り、良い会社に入
ることが幸せになれ
るんだ」と思ってい
る人が多いのはどう
したことなのか。
全国的な学習塾狂
時代、東京では学校
に行かず塾通いのみ
をしている生徒もい
ると言う。現実、学
校で教えることのみ
を学んでいては、「麻
布」や「開成」には
入れないと言う。な
んのための学校教育
かとも言いにくなる。
今回、町からの依
頼で山村留学の説明と募集
のため、企画課長ほか三名、
事務所側から井上、池田、大

山村留学の募集にあたって

東京連絡事務所だよりNo.45

井と七名のスタッフで、練馬
区、北区、江東区、荒川区、
足立区を二日間回ってみた。
行政での企画事業としては
全国でも数少ない試みと言
うことで、各区役所とも関
心は示すものの、取り組み
方としては時間がかかる
と感じた。また、朝日新聞、
読売新聞の記者を事務所に
おいでいただいたり新聞社
に伺ったりして、第一段階
としては結果待ちと言った
ところである。
今後の取り組み方
としては、次のよう
なことを熟考した上
で長い時間が必要と
思われる。少なくとも、
私の考えでは二
年ぐらいでないとも
感じられた。
① 受け入れ側のみの
気持ちや都合だけ
でなく、出す側の側
になっても十分調査
した上に立っての考
えであること。
② 理想のみでなく、現実
を見た観点からの発想であ
ること。

山村留学事業でむらおこしを

立木地区

推進協議会が発足

山村の家庭が里親になって都会の子どもを受け入れ、自然の中で心豊かな体験学習をめざす山村留学事業。昨年からの受け入れ体制づくりをすすめてきた立木



学区民あげてとりくもう——と推進協議会が誕生した

小学区で、さる一月十四日推進協議会の設立総会が開かれました。

立木地区は朝日連峰の表登山口にあり、朝日川の清らかな流れや山林資源などが豊かな上、白倉スキー場、家族旅行村などの体験基地の整備もすすめられていることから、自然を満喫できる山村留学には最適地。地元でも溪流まつりや立木小学校舎改築へのとりくみなど、むらおこしへの気運が高まっており、山村留学も学区民あげて推進していくことになったものです。

この日は、立木小教育振興会の委員をはじめ里親の受託者など地元代表のほか、町からは助役、教育長、東京連絡事務所長ら二十名が出席。推進体制や会則、募集方法などについて熱心な協議が行われました。

留学児の募集については心身共に健全な小学一年から五年までの児童で、期間は一学期間以上一年間。当面は、里親を引き受ける家庭の体制もあり、六十三年度は二名の募集でスタートすることを確認しました。立木小は五年後には児童が十六名(現在二十四名)に減少することが予想され、留学児を徐々に増やしてより活気ある学校をめざすことも話し合われました。

③ 世の流れから見ても、必ず山村留学のような考え方の時代が来ると言う前提で時間をかけること。
④ あまり行政的に考えず、民間的な発想に変えた上で行政が見守る、と言う考え方で進め方がよりベターと思われる。

やく男女の均等がとれるとある。ただ、近い将来、全国的に個々の余暇をどこでどうやって過ごすか、ゼイタクな「レジャー」選択の時代が来ると言うことだけは確かであろう。

(所長 大井尚武)

【朝日町東京連絡事務所】
住所／中央区日本橋蠣殻町 一―二六―四
電話 〇三―六六六―七〇〇二



お米の話②

米利用加工品

変身! ご存じですか? これも米で出来ています。

昔から、米は主食「ごはん」として食べる一方、お酒やせんべい等々の多くの加工品の原料としてもつかわれてきました。

最近では、いっそうの米の特性を生かした米加工新製品の開発が積極的に進められています。

米加工品のいろいろ

●日本の伝統的なもの

米菓(あられ、せんべい)、生菓子(だんご、桜もち、かしわもち等)、穀粉(上新粉、白玉粉)、米みそ、清酒、焼酎、みりんなど。

●数年前から市場へ出回っているもの

レトルト米飯、米飯缶詰、カップライス、包装もち、離乳食など。

●最近市場へ出回っているもの

即席カレーライス、即席お茶漬、アルファ化米(赤飯、山菜おこわ)、冷凍おにぎり、冷凍白玉もち、米粉生めん、米粉乾めん、米粉入り即席めん、即席がゆ、圧せん玄米、ライスブレッド、ライススナック、ライスフレーク、各種スナック食品、玄米スープ、玄米ポタージュ、ハンバーグ用原料、ライスコロケ、パフゲン、ワインタイプのお酒、玄米コーヒーなど。



朝日町米消費拡大推進協議会



待望の大滝公民館が完成

地域づくりの拠点とともに
ダムまつり・ワインまつり
にも活用が期待

区のシンボルとして、多くの利用が望まれる大滝公民館

大滝区民長年の願望だった新しい公民館が、十二月二十一日に完成。同館のそばを通る集落道下道線の改良工事と大滝ポンプ庫の新設工事の完成とを合わせて祝う落成式が一月三十日、同公民館で行われ、区民にとっては三重の喜びに沸きかえりました。

同公民館は、区内に上郷ダムを有することから、水力発電施設周辺地域交付金の補助を受けて建設されたもので、木造平屋建て、床延面積百二十平方メートルの、白を基調にしたモダンな建物。内部には二十七畳の集会用大広間のほか調理室、小会議室などがあり、総事業費は約一千四百万円。今後は、区民の生活学習や地域づくりの拠点として多くの活用が期待されるほか、同公民館は町の二大イベント、上郷ダムまつりとワインまつりが開かれる上郷ダム公園の入口にあることから、町の顔として町のイメージアップにも一役買います。

ポ ー ト

町職員の
海外研修

昭和六十年度から設けられた町職員の海外研修派遣制度。今回、北部出張所の阿部主事が去る十一月十四日から十二日間、欧州四カ国の社会教育視察に参加して帰りましたので、今月号と来月号に分けてその報告をします。

欧州社会教育視察団に参加して——阿部 喜栄治



紳士の国
イギリス

《ロンドンの街》

ロンドンの街並は、古典的で整然とした感じがする。紳士の国にふさわしい雰囲気

が漂う。建築物、展示物から歴史の重みと過去の大英帝国の威厳を感じる。

市内見学で特に印象に残ったものは、世界一の博物館といわれる大英博物館である。古代エジプト、ギリシャの遺跡、彫刻群には驚かされた。

国内事情を聞けば、英国病と酷評された経済はだいぶ回復したが失業率十四％、特に若者が職に付けない状況である。失業者当二万五千円を資金にした麻薬が大きな社会問題になってきて

いる。ハイテク産業立国を

目指す英国としては、優秀な若者の育成が急務の課題である。そのため様々な政策が実行されているとのことである。

《コンバートン・ビレッジ・コミュニティカレッジ》

ロンドンより車で一時間半、大学で有名なケンブリッジ市郊外の村コンバートンを訪問する。

この施設の特徴は、①義務教育(11歳〜16歳)を行う学校で、主に夜間、土曜、日曜を利用し様々な成人教育が行われている。②講師については、学校の先生のほかパートで五十人ほどが当たっている。③内容は、九〇コースあり、

二千人の成人が学

んでいる。

日課については、月々金曜日は午後5時〜午後10時まで、土、日曜日は終日開校。各コースとも週一回で一〇週で終了するプログラムである。授業料四千五百円程度。

コースの内容は、「高齢者の健康管理」「語学」「美術」「楽焼」「車の整備」「溶接」「バトミントン」「ヨガ」「ダンス」等、大変きめこまかいコース設定となっている。人気のコースベストスリーは、前記三コースとのこと。なんとなくうなずける点がある。

施設のハード面については日本のほうが進んでいるが、若い婦人のために託児



選挙管理委員を新たに選任

委員長に松尾亮蔵氏が再任

委員長 松尾 亮蔵

町選挙管理委員会の任期満了(四年)に伴い、昨年十二月の町議会定例会において、次の四名(定員)のかたがたを新たに選任。一月十一日に開かれた選挙管理委員会席上、委員長に松尾亮蔵氏が再任されました。

委員長代理 斎藤 八蔵

(夏草・再任・72歳)

委員 今井 俊助

(前田沢・新任・61歳)

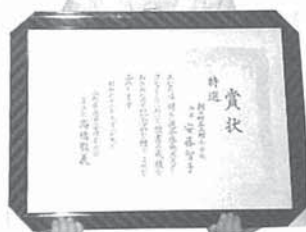
委員 塚本 且道

(大谷二・新任・41歳)

明るい選挙ポスター県特選に

上郷小2年 安藤 智子さん

山形県選挙管理委員会主催の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、上郷小二年安藤智子さんの作品が見事特選に輝きました。このコンクールには、県



内の小中学生五、一七〇人が応募。このうちそれぞれ五人ずつの特選の一人に選ばれたもの。県のシンボル花笠を画面いっぱいに描き、明るい選挙を訴えた作品は、好評で現在全国コンクールに出展中。また入選は次の方々です。

▽布施直子(宮小四年)▽岡崎麻美(送橋小五年)▽阿部進也(大船木分校六年)▽海野康子(朝日中二年)▽佐藤香織(同)▽岡崎ひろみ(同)▽志藤由美子(同三年)

所が併設されてあった。

ここでの印象は、施設利用の面あるいは講師陣にみられる、英国人の教育に対する柔軟性のある考え方があった。

最後に担当者に将来あなたはどうな成人教育を目指しますか、との質問に彼は①もっとコースメニューをふやし、住民をこの学校に集めるのではなく小さな集会場に出向いて行う講座の開設。②資格習得ができるコース設定。③ニューメディアを活用しての放送大学の利用。と答えしてくれた。共通できる点があり大いに感動した。

石畳の国 イタリヤ

《ローマの街》

ロンドン・ヒースリー空港より三時間半、レオナルド・ダビンチの銅像が立つローマ空港に到着。早速市内見学を行う。ベネチア広場、テレビの泉、コロッセオ等。古代ローマ帝国の繁栄は想像を絶するものであ

る。石造りの堅牢な建物は、三千年の歴史を持つ、永遠の都、そのものである。

現在は観光地として、世界中の人々が訪れるところとなっている。中でも日本人が多く、若者が特に目に付いた。

大通りから石畳の路地へ、石造りのレストランで食した本場のスパゲティは絶品であった。ヨーロッパに於て以来日本人の舌にあつた料理に、団員一同大いに感動した。

《国立サンピエトロ・デ・インフラバンレ商業高校》

当初の予定では、今回の視察の目玉というべき生涯教育センターの訪問であったが、ローマにはその様な施設は存在しないというところで急きょ変更になった。生徒数六二〇名、女子生徒六割、男子生徒四割、三年コースと五年コースがあり、卒業後には主に一般事務、秘書、会計士の職に就いて

いる。

特に、印象に残った点は(1) 学校は、知識を授けるところでそれ以外のことは全く行わないという先生方のわりきつた考え方。

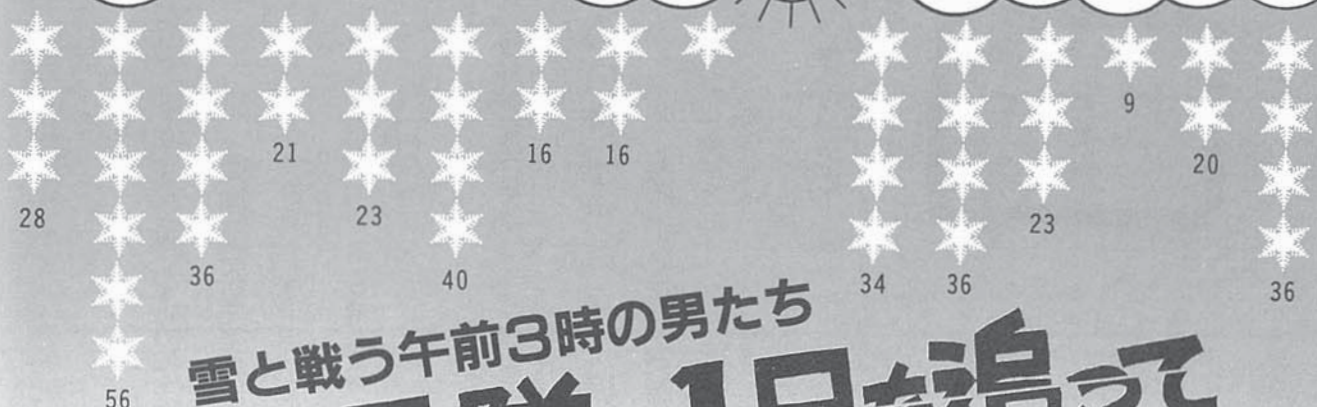
(2) 生徒たちは、将来の目標をもつて入学するので、非行とか中途退学は全く無い。また、日本の高校のように優秀の差もない。日本の学歴社会ではとても考えられないことである。

(3) 高校進学率五十%、大学進学率二十五%と、高学歴社会ではないが、学歴よりも実力、実利主義であり、それを身につけるため教育を受けているという印象がとても強く感じられた。



いたるところに「歴史」をのこすロンドン(タワーブ

24 25 26 27 28 29 30 31 2/1 2 3 4 5 6 7 8



雪と戦う午前3時の男たち 除雪隊の1日を追って



出陣前のいっぶくをのみながら、昨夜の話題に体をほぐす。

よい。相手に不足なし。

午前3時すぎ、早朝というよりはまだ深夜、無言の雪音だけがやみを奪い、多くの人たちがこちよい眠りの中にあるころ、除雪作業に従事する男たちの一日が始まる。かれらに与えられた第一の任務は、出勤時間までの生活道路の確保。

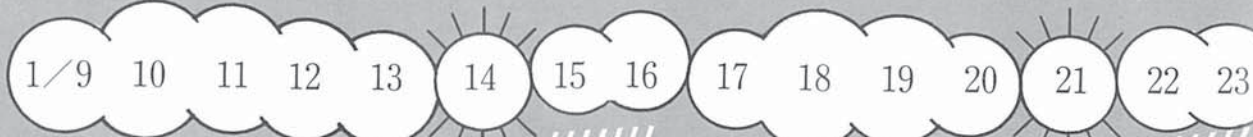
午前3時半、目をこすりながら役場車庫にある町除雪隊の基地をたずねた。ストープを囲む12名の隊員らに、隊長から日中の作業連絡がひとこと。もうかれらには、これから始まる雪との戦いの指令はいらない。

午前4時、1人乗りの愛車に乗った男たちは、やみを切り開くかのように、重量感のあるエンジン音をふるわせて町の中に消えていった。現在、町内の道路のうち国県道、延長およそ63kmは国県の業者委託路線。町の管理する町道などおよそ123kmが、かれらが主役の舞台であり、白い大地の戦場だ。

【過去10年間の最高積雪】

記録日	積雪
52・1・30	129cm
53・2・24	106
54・1・23	60
55・2・18	112
56・2・5	145
57・2・11	90
58・2・21	130
59・3・12	200
60・2・24	140
61・3・3	150

38	70	80	85	95	112	95	100	100	90	120	125	130	110	118	132
24	25	26	27	28	29	30	31	2/1	2	3	4	5	6	7	8



※数字は
降雪量
(cm)

39 23 30



日中は、歩道などの排雪作業。通行する車や道路沿いの人々から、一時協力を願う時間。



ふるさとの家で仲間と朝食。緊張がほぐれる一時だ。



また明日の、雪との戦いに備え、愛車の手入れが一日の最後の作業。



特に今夜は、雪の降りっぷりが

ライトのひかりがうすくなった。大地の皮をはぐように『戦車』は進む。

※降雪量、積雪量などの数値は、宮宿と立木の2箇所にある町の雪量観測所のうち、立木観測所の午前8時のものです。

カメラあぐる

積雪量 (cm)	10	43	65	73	60	45	25	18	20	27	48	40	34	20	10
	1/9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23

子どもは「よく遊べ」

友だちと思いきりとびまわって

「遊んでばかりいて困る」と、お母さんたちはよく言います。でも、だれとも遊ぼうとしない子どもになつたらどうでしょう。かえつてその方が心配なのではないでしょうか。

『よく遊びよく遊べ』と昔からいわれています。今月は、小学生の遊びについて考えてみたいと思います。

— 教育広報委員 小関 亮子 —

学校が一番すき

「先生、今日、中間休みある？」朝、教室に入ると、あいさつもそこそこにこんな質問をされることがあります。

それは、たいてい、前日の中間休みにそうじがあったりして、遊べなかった時です。だから、朝から、中間休みがあるかどうか心配なのです。

中間休み・昼休み・放課後。学校では友だちと遊べる時間はあまり多くはありません。しかし、子どもたちにとって、この休み時間こそ、最大の楽しみなのです。

- ・ 大きな集団で遊べる
- ・ 仲のよい友だちと遊べる
- ・ 勉強からはなれて気分

転換がはかれる。

体育館や校庭を所狭しと元氣いっぱい走り回って遊んでいます。

子どもたちは、この限られた休み時間の中で、いろいろな経験を重ね、社会のルールを自然に覚えていくのです。

「先生、〇〇さんばかりブランコの上で、かしてけねー」「〇〇君、順番守らねー」

などと、苦情の出ることもあります。遊びにも約束ごとがあることを、子どもた

ちは自覚していくのです。

休み時間を十分遊んだ子どもは、大きな満足感をもって、次の時間の勉強に取り組めるのです。赤いほつたをして、汗をいっぱいかきながら教室に入ってくる子どもたちは、こんなことをいいます。

「あつついな、先生ヒーター消して」

思いきり体を動かして遊んだ子どもは、顔が輝いています。授業ははじめのあいさつも生き生きとしています。子どもたちは、「みんなと遊べるから学校は楽しい」と考えているのです。

心をわける相手

今、テレビゲームがはやっています。テレビの前に一人すわって何時間も

ゲームをやっている子どもがいるとしたら、この子どもは本当によく遊んでいる



手をはなすな／仲間があぶない



いきを合わせて、みんなでジャンプ

といえるでしょう。

一年生の子どもたちが、初めて長なわとびをした時のこと。なかなかうまくとべません。

それでも大勢で練習をしているうちにうまい方法を見つけました。まだとべない人の順番になると、なわをもっている人がゆっくり動かしてくれるのです。そして、回りの人は「ほら、今だ。」

と、いつなわに入ったらいいのか声をかけているのでした。うまくなわに入ってとべるようになると、

「うわー、できたできた。」と言って、自分のことのように喜んだり、拍手をしたりしているのです。

「先生、大波とべるは！」と、できるようになった子どもは大喜びで教えてくれました。そうして、大波も上手にとべる子どもがだんだん増えてきました。

あたたかく励ましてくれる友だち、その声にささえられて練習をがんばる子どもたち。その心と心の通い合いがあったから、とべる

ようになったのです。

友だちと一緒に体を精いっぱい動かして遊ぶ場合は、『心をわける』相手がいるのです。生きていく上で、本当に必要なものは『心をわける』相手なのです。テレビゲーム（機械）には、『心をわける』ことはできません。

大勢の友だちとふれあい、助け合ったり、教え合ったり、励まし合ったりしながら、子どもたちは、友だち

とともに生きる楽しさ、喜びを感じとっていくのです。

大勢の友だちの中で、子どもたちは、心身ともに成長していくのです。

最近では子どもの人数が減り、家へ帰っても遊ぶ人がいないか、あるいは少ないという現状です。学校こそが、大勢の友だちと遊べる場所なのです。だから、思いきり、友だちと遊んでほしいと思うのです。

社会の中で育つ

遊びは、子どもの体力づくりや役だつばかりではありません。子どもにとつて、遊びとは生活そのものです。子どもは社会の中で育つべきものです。少なくとも、遊びの中から人と上手につき合う方法を確実に覚えていきます。

多くの友だちと接しながら、その中で仲よく楽しく遊べるとしたら、豊かな人間性が自然に育まれていくでしょう。

「勉強したが？」

「宿題したが？」

と子どもたちに、口ぐせのように聞いてはいませんか。時々、

「今日は、だれと遊んだの？何して遊んだの？」と聞いてみてください。

その日のできごとのことから、楽しかったこと、うれしかったこと、くやしかったことなどを子どもたちは話してくれるでしょう。

そんな子どもたちを、あたたかく見守ってやってください。



ソバでながく 世代を結ぶ

手打ちのソバ作りに挑戦

いもがわ少年教室



テレビや旅にと、今や「グルメ時代」。そんな中、一月二十九日、「ソバ好き少年集まれ!」の呼びかけで、手打ちのソバ作りを目玉とした西部公民館主催の『いもがわ少年教室』が、同館を会場に開かれました。

この教室は、西部地区の小・中学生を対象に、地域とのふれあいをねらいとして、冬休みを利用し毎年開かれていたもので、今回は特に、昨年発足した常盤地区地域福祉推進協議会（松田正蔵会長）の世代間交流事業と合わせて行われたもの。

この日参加したのは、二十八人の子どもたちと常盤地区を中心とした二十五人のお年寄りたち。昔はどの家庭でもソバ打ちをして食べたということも聞かれ、

おじいさんたちから「ねり」や「のし棒」の手ほどきを受けながらソバ打ちに挑戦。調理室では、婦人のかたがソバツユ作りとゆでかたを指導。ゆで揚がると皿に盛り付け全員で会食。「いただきます」の声より早く「ヒュルヒュル」というおもしろい音が聞かれ「おかわり」の連続。中には三人前もたいたげの子もいて、いもがわの「おそばやさん」も大繁盛。

午後からは、青少年推進員の斎藤ひとみさんの指導でレクリエーション。りんごの皮むきやレイ送リなどのゲームに、楽しい一日を過ごしました。



りんごの皮むきも、細く長くがコツ

リンゴとワインの 家庭料理



⑩リンゴの クリームコロッケ

■材料

リンゴ	1~1.5ヶ	バターまたは	
ベーコン	5枚	マーガリン	40g
玉ねぎ	1ヶ	小麦粉	40g
キャベツ	1/4ヶ	牛乳	500cc
マッシュルーム	5ヶ	塩、胡椒	
塩、胡椒、白ワイン			

■作り方

- ①鍋にバターまたはマーガリンを溶かし、小麦粉をふり込み、こがさないように炒め、粉がサラサラの状態になったら牛乳を少し入れよくまぜ、これをくり返し全量の牛乳を加え、塩・胡椒をし、火を止め、ホワイトソースを作る。
- ②ベーコンは2~3cmに切り、玉ねぎはうす切り、キャベツは3cmくらいの長さの線切り、マッシュルームもうす切り、リンゴは皮と芯をとり4等分を横1cmくらいのうす切りにする。
- ③鍋にサラダ油大さじ3をとり玉ねぎをよく炒め、ベーコンとキャベツを加え、リンゴを入れて炒め、塩・胡椒・白ワイン大さじ3を加えよくまぜ、火を止め、①のホワイトソースであえ、パットに流し、冷蔵庫でしっかり冷やし固める。
- ④③を1口大より少し大きめのボールに作り、小麦粉、卵、パン粉をつけ油で揚げる。熱いうちに1ヶ所指で押し、パセリのくきをさしリンゴ型に作る。

(広報委員 柴田泰子)

今日の顔

上郷ダムに飛来する白鳥の餌付けに初めて成功した白鳥おじさん



松程 鈴木 吉雄さん(64歳)

「こーい、こーい、こーい、こーい」白鳥おじさんの声がダムに響くと、首を長く伸ばした白鳥たちが一斉に餌場に寄ってくる。パンくずやしいな、茶カラを我先にと奪いあう白鳥たち。我が子を見るように目を細める。

上郷ダムに初めて白鳥が飛来したのは七年前の初冬。毎年その数が増え今冬は最高五十六羽に。何とか定着を餌を運び続けて三年目。さる十二月八日、数羽の白鳥がスーッと近づき餌を食べ始めた時の嬉しさ。

「いやアめんごくでめんごくで。毎日待つてつかど思うど、行がねでえらんにえくなつては。」白鳥のお陰で、冬痛み出す膝が今年「根気負けすねで通うしかない。みんなだめんごがつど必ず居着いでけるはず。安心してひと冬暮らせる環境づくりが必要とも。」白鳥に餌付けをせんと氷雨ふるダムへの道を吾は通ひぬ。
八年前好きで始めた短歌。「まだまだこれから。来年は子ども連れて倍の白鳥が来るはず」と目を輝かす。



優良障害者で県表彰 白倉の阿部直美さん

(有)日山製作所勤務

山形県心身障害児者を励ます会(服部敬雄会長)主催の優良障害者表彰式がさる1月14日行われ、席上白倉の阿部直美さん(19才)が表彰を受けました。

これは、自らの障害を克服し社会の第一線でがんばっている方を毎年表彰しているもので、今年は県で4人の中に選ばれたもの。直美さんは昭和59年県立米沢養護学校を卒業後、町内の日山製作所(石井喜久男社長)に入社。以来、自分のハンディをのりこえてまじめに作業にとりくみ、立派に職責を担っています。石井社長は「直美さんはほとんど休まず、勤勉ぶりは社員の模範ともいえるもの。これからもがんばってほしい」と語っています。

豊作と健康、そして

子どもたちの成長を願って

小正月の火祭り「おさいとう」

一月十五日の夜、恒例の「おさいとう」が町内各地で行われました。昔から小正月の伝統行事として、家の庭先や神社の境内にワラ束を寄せあつて燃やし、一年の健康と豊作を願うもの。

この夜祭りも最近では、子どもを主体に健全な成長と区民のコミュニケーションを図ることをねらいとして年々盛ん。地区によっては公民館の広場や田んぼを利用し、区民総出で特大の「おさいとう」を作り、青壮年や婦人会の協力で甘酒

や売店などを出すところも増えていきます。

この日、常盤地区では、水口観音堂の境内に設けられた大きな「おさいとう」を区民たちが輪になって囲み、たつ年生まれの子、年女の人が観音堂のろうそくの火から灯されたタイマツで、「おさいとう」に火を付ける儀式で開始。「おさいとう」が赤々と燃え上がる、水木にさしたダンゴを火にかざしたり、手を合わせて熱心に祈る風景が見られました。



みんなの願いが天に届くように「おさいとう」の火が舞い上がる(常盤)



ころんでも、はなせない

ゴール前のアクシデント

雪はわんぱう
面白し

区民総出の楽しい一日

雪上レク大会 in 栗木沢

二月七日の日曜日、栗木沢地区では区民総出の雪上レクリエーション大会が行われました。第一回のこの大会、同地区の四十歳までの青壮年で組織する「栗木沢若い衆の会」(佐久間進会長・会員40人)が中心となって区民に呼びかけたもの。

あいにくの吹雪模様ながらも、会場の栗木沢農村公園では午前中、会場入口に子どもたちによる雪のアーチ作り、正午からは幼児の「ミカン拾い」に始まり、奥さんに乗せたソリをダンナさんが引く「夫婦ソリレース」や「かんじきレース」、足にビニール袋をはいての「雪上つな引き」など、ユニークな競技が次々と。この催し、出場者はあくまでも真剣そのもののなのに、雪が楽しいハプニングを演出。応援席からは声援よりも笑い声がいつぱい。夕方からは、大きなかがり火をたいて懇親会。来年もまた、おもしろいゲームを考え区の恒例行事にしよう、と、「遊雪」「楽雪」の話題に花が咲いていました。

宅配便でリフレッシュ

阿部 ひろ子 さん

《東京都板橋区高島平2-33-1-1408》



*プロフィール

- 昭和25年、立木生まれ(父・正二)
- 左沢(朝日)高校卒業後、私立東京家政大学に進み、昭和49年から東京大学海洋研究所に勤務。
- 趣味 アートフラワー・藍染め・テニス・山歩き

広い東京の空の下、新宿駅を降りて、高層ビルの谷間を抜けるバスで十二分、『東京大学海洋研究所』という私の職場に着きます。

「海洋の基礎研究を目的」とするこの建物には、二百三十名の職員と百名近くの大学院学生、外国人学生などが通ってきます。

この研究所の最大の特徴は、二杯の船を持っていることです。その一つ「淡青丸」は、日本周辺や近海の海流、気象、地殻、プランクトン、魚類などの調査が主な役割。もう一方の「白鳳丸」は、淡青丸と同じ調査のほか年二回、海外で外国の研究者とともに専門的な海洋調査にあたっています。そのため、この研究所

は全国の共同利用研究機関ともなっており、主に国公、私立大学や国、県の研究機関などに、施設、船などが広く利用されています。

全国共同利用の窓口、受付、紹介、相談、研究実行など、また研究学生らの世話が主な私の仕事です。持ち前の明るくさっぱりとしている性格と物おじしなところ、ところがよいのか、特に外国人留学生の相談相手や、中堅という立場での上司への取次ぎも多く、変化のある忙しくも楽しい毎日です。

そんな日々の中、ことあるごとに思い出されるのは高校時代のクラブ活動・山岳部のこと。三年間、黙々と重い荷物を背負い、朝日岳には五十回以上も登りました。そして、狭いテントの中で真つ黒な顔をした部員に向かい、何回となく言われた顧問の佐藤先生の言葉「山岳部の真の目的は、社会へ出てからのチームワークづくりとリーダーシップの養成である」と。現在の私の立場であり、その訓練を、ふるさとの山々

当世むがどりの事情 ④

町では町内の結婚適齢者の相談に応じ、適切な指導、助言と仲人を行い、健全なる結婚の成立に努め、後継者の確保と安定を図ることを目的として昭和五十一年四月、結婚相談員を設置。私はその任命を受け相談活動を行ってまいりました。

結婚問題は、他市町村に於いてもわが町と同様、深刻に考えるようになり、行政が窓口となつて、民生委員や農業委員、また仲人の上手なかたなどを委嘱し、

ぎりの範囲において、名刺の交付や相談活動に必要な資料、手引書を作成周知し

結婚は人間生活の基本

結婚相談員 松田正蔵(長沼)

結婚相談活動を展開している市町村が増えてきました。朝日町は早くから積極的に取り組んでいますので、相当数の結婚者も実績として上げているところです。これも、行政面でできるか

て、われわれの共通課題の解決に大いに利用させてもらっていることから、相談件数も多く成果も上がっているものと思います。こうした活動が世間にも知れわたる、西村山行政管

内はもとより、山辺町、村山市、余目町の相談員、また県外からも朝日町の結婚相談員活動の視察研修にきています。そこで、結婚適齢期のかたがたに一言。動植物、魚

介類にいたるまで、生物はすべて子孫繁栄のために、人間は結婚して、動物は交尾して、植物は花粉が飛んで根が接触してとか、子孫を絶やさぬようにと世の中を形成しております。

「適齢だ」と呼ぶ年齢は、人によって差がありますが、二十歳から三十歳前後くらいまで相談対象となり、三十五歳を越えると、なかなか相手を探すのに苦労します。女性の数は、決して男性より少ないとは思いませんが、花嫁・花婿は間近に見当たらず、広範囲にわたって駆け回らねばなりません。したがって、一家の大問題

として家の者みんなが見たり聞いたり探したり、まず自らが解決に努めてほしいものです。

子どもや孫のいない家庭は淋しく、想像してもなんとなく沈みます。物や金に恵まれても、人間の真の幸せは家族構成にあると思います。ほとんどの人は、生活能力を持つて生まれてきます。相手を十分知ることが最も大切なことですが、自分の立場もしっかり見極める必要があります。

「意のごとくならぬは己れの行が足らぬから」。たつ年の年始明け、立って足でまとめましょう。



雪のアーチは、子どもたちのすべり台に早がわり

ふるさとへの便り

▶ 61 ◀

が十代の青春の中で与えてくれたことに、とても感謝しています。

また、窓の外を見ながら「小学校のチューリップは咲いたかなあ」「家の前の山を墨絵のように描く雪はもう降ったかなあ」などと思いついたに、毎月と言つていいほど送ってくれる両親からの宅配便の箱。入っ

ている食べ物など、一つひとつに忘れかけていた季節の変化を知り、四季折々の出来事を思い出したりしています。今日も「魔法の箱」で元氣もりもり。父さん、母さん、ありがとう。

私にとって「ふるさと」朝日町は、青春のきらめく汗と、両親の温かいぬくもり、そのものです。

アサヒクニが2連勝

女子はクラブ朝日

町民バレーボール大会

男子5チーム、女子9チームが参加しての第21回町民バレーボール大会が1月31日(日)、町民体育館を会場に行なわれ、昨年に続いてアサヒクニチーム(長岡英大監督)が男子の部で優勝。女子の部ではクラブ朝日チーム(渡辺恒子代表)が熱戦の末、優勝を果たしました。

第2位は、男女の部ではベストフレンズチーム(成原広昭監督)、女子の部はレインボーチーム(池田さち子代表)でした。



試合に先だつての長岡英大さんの宣誓



最後の瞬間までが勝負

町教育委員会と小学校体育連盟が主催する第七回町内小学校スキー大会が二月四日、白倉スキー場で開かれました。

この大会は町内八校の六年生と複式学級校の五年生を対象に、冬休みを利用して行われているもので、合わせて百六十七人の選手は男女別の回転競技に、雪けむりを上げながらタイムを競い合いました。

- ▽男子回転
- ①安藤 昌幸(上郷小)
 - ②鈴木 靖人(西五百川小)
 - ③朽木 英之(西五百川小)
 - ④成原 哲也(宮宿小)
 - ⑤布施 祐紀(宮宿小)
 - ⑥佐竹 孝司(西五百川小)
 - ⑦菅井 奈穂(和合小)
 - ⑧鈴木 秀幸(宮宿小)
- ▽女子回転
- ①堀 由紀子(大谷小)
 - ②阿部 寛子(大舟木分)
 - ③遠藤 厚子(大谷小)
 - ④安藤絵里子(西五百川小)
 - ⑤若月さおり(西五百川小)
 - ⑥阿部 真紀(立木小)
 - ⑦村山真由美(上郷小)
 - ⑧阿部 春美(立木小)

入賞者は次のとおりです。

白倉の新雪をけって 一秒を争うタイムレース

町内小学生スキー大会

親と子の二代対抗試合を披露

水戸大会をめざし大谷剣道まつり



あいうち?白熱した試合展開

2月11日、北部体育館を会場に大谷剣道スポーツ少年団の第13回剣道まつりが開催。おおぜいの父兄らが所せましと応援につめかけた会場では、12組の親と子の二代対抗試合も披露され、3月27日に出場が決まった水戸の全国大会への出陣を前にして、少年剣士たちの一段と気合のはいった声が、場内いっぱいひびきわたっていました。

大江勢を圧倒

ミニバスケット 大江朝日定期戦

朝日町と大江町にそれぞれ二団体、男女合わせて八チームのミニバスケットボール少年団定期戦が二月十一日、町民体育館で開催。三月下旬行われる東北大会への出場も決まった和合スポーツ少年団とともに、宮宿少年団も技術力とリズムミカルなチームプレーで大

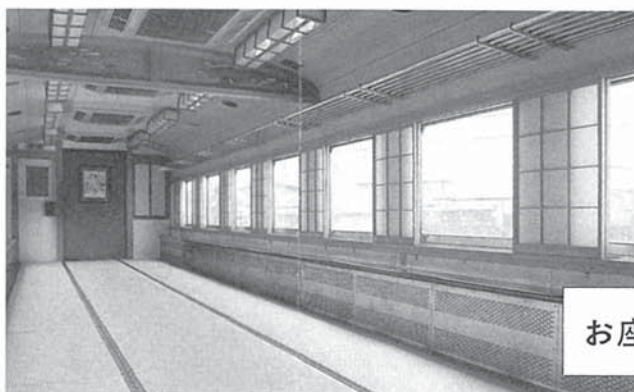
江勢を圧倒。バスケットの「朝日」を思わせる試合ぶり、かけつけた父兄らの声援にこたえていました。



バスケットゴールも少しミニ

ひと味ちがう、くつろぎ感覚

青函トンネルと函館の旅



昨年11月に完成した世界最長の青函トンネル。長さ54キロにも及ぶトンネルをくぐり、函館、大沼公園までの「町民号の旅」参加者を募集します。

往復は快適なお座敷列車で。どうぞお誘いあわせの上ご参加下さい。

✦期日／4月23日(土)夜出発～25日(月)

✦募集人員／40名 ✦会費／38,000円

✦コース／山形～青森～函館市(トラピスチヌ修道院、熱帯植物園、五稜郭、函館夜景、大沼国定公園)～湯の川温泉(泊)～青森～山形

✦お申し込み・お問い合わせは、
朝日町役場企画課へ ☎(67) 2 1 1 1

お座敷列車・町民号 **参加者募集**

いま、マイホーム実現のチャンス!

双葉住宅団地好評分譲中

ふるさとに
安らぎの住まいを

最上川のほとり、四季折々の美しい自然と、潤いと安らぎのある快適なたたずまいが魅力です。あなたの第2のふるさととして、ぜひお選び下さい。

《分譲の概要》

- 所在地／朝日町夏草地内
- 分譲区画／1区画107坪～144坪
15区画
- 価格／坪当り34,200円～
39,200円
- 交通／町営バス
宮宿～立木白倉線
- 道路／幅員6mアスファルト舗装。上水道、駐車場、緑地、防火水槽等完備
- 特典／土地取得資金に対する300万円までの融資制度等があります。

分譲のご相談・お申込みは

●朝日町役場企画課へ
☎0237(67) 2 1 1 1





ほやほや
新婚さん

白倉 堀 新一 さん
新由 美 さん



*おしあわせに

(婚姻届)

62年12月1日〜62年12月31日
今平 神奈川県
鈴木 啓一 鈴木 恭子
杉山 天童市
花山 護 伊藤江里子

*すくやか

(出生届)

62年12月1日〜62年12月31日
区名 出生者氏名 父名
常盤 佐竹 佑斗 伸一
杉山 齋藤 翔 敏
本町 鈴木 紀 正 明
太田 長岡 泰隆 純 一
栗木 沢 遠藤 慎弥 賢 一
大谷 二 佐藤 あおい 博 司
西町 菅井 あすか 昭 彦
沼向 菅井 壽男 賢 一
63年1月1日〜63年1月31日
区名 出生者氏名 父名
太郎 一 長岡 千陽 昂 司

出会いはどこで?と聞くと、「山形でかなア。新一さんが山辺で大工修業をしていたころ、ふと飲みに行った山形の店で知り合い、となり町(大江町)のよしみで意気統合。何度かデートを重ね、「白倉のために二人で「ふるさとの家」をやらないか」と真剣に語る新一さんの愛の告白に、ぐらつと。赤ちゃんは?とたずねると、ズバリ「五人欲しい」と明るく語る由美さん。彼にひかれたのは「やっぱり優しいです」とおのろけしきり。今年の暖冬は二人のせいかな?「いろんなメニューを研究しながら、二人でがんばっていきます!」。(広報委員 白田光郎)

*やすらかに

(死亡届)

62年12月1日〜62年12月31日
区名 死亡者氏名 世帯主
常盤 長岡まする 善兵衛
太郎 二 長岡太右エ門 太一
大谷 一 國井シケ 白田繁司
元町 清野 りつ 啓 三
八ッ沼 大沼 とめ 榮 悦
63年1月1日〜63年1月31日
区名 死亡者氏名 世帯主
送橋 清野 豊志 孝一郎
栗木 沢 遠藤 政勝 政 則
大船木 堀江 善藏 圭 治
大谷 五 長岡石五郎 正 喜
常盤 長岡 昇吾 文 雄
今平 鈴木さだゑ おさだ
常盤 齋藤 莊壽 仁
大沼 白田 益規 正 俊

*人口と世帯数

(62年12月31日現在)
▽人口 一〇、九六九人(六)
男 五、四四九人(七)
女 五、五二〇人(△二)



社会福祉協議会へ

送橋の清野孝一郎さんから、恵まれないかたのために役立てて下さいと、現金三万円をいただきました。

手打ちソバ

明鏡荘へ出前訪問

「ソバで長生きしてください」と、そばやさんを営んでいる西町の長岡利男さんが、このほど手打ちのソバを持って養護老人ホーム「明鏡荘」を出前訪問。ソバ好きなお年寄りたちは、縁起のいい何よりの贈り物に大喜びでした。



世せむき

▼私事で恐縮な話題だが、公職の身にあるが、己れ自身の健康管理を怠り、新年早々から入院治療の止むなきにいたり「むらおこし」の戦列から、約一ヶ月間離れざるを得なかったのは、きわめて残念至極。

▼入院期間中「情報過疎」が不安になり、地方紙はもちろん中央紙の新聞、全部を売店から買ひあさり、少しでも遅れまいと努力はしたつもりだが、「ナマ」の情報入手に手間どり、元気で在宅しておればと悔み、健康のありがたさをしみじみと感じた入院生活だった。

▼「同病相あわれむ」ということわざがあるが、同室での会話は「君はどこだ」からはじまるが、「朝日町だ」と答えると、「今年も東京から雪おろしくんだがえ」「タキタローでどだな魚だ」と聞かれたときは、ガツッリ。

▼朝日町をイメージで売ろうと町は「C・I」(企業イメージの総合戦略)の導入を計画したと聞く。新しい手法で「むらおこし」の先端を行く「朝日村」に追いつき追い越すために、町民が期待する「ふるさと商法」の起爆剤となる強力な戦略をねり上げてほしいものだ。(ほり)